

登米市立宝江小学校だより



あかまつ

夢と志をもち、自らをきりひらくたくましい子ども
まなぶ子 たくましい子 やさしい子
ホームページアドレス <http://www.tomei-svr.jp/~takarae-syo/html/>

令和元年8月29日(木)
発行責任者 校長 山内 晴子
登米市中田町宝江新井田字後田22番地
TEL 34-2144 FAX 34-4313

実り多い2学期に！！

校長 山内 晴子

37日間あった夏休みが終わり、元気な子どもたちの姿が学校に戻ってきました。子どもたちの表情は明るく、どこかたくましささえ感じられました。学校では味わえない学習や体験・経験などを重ねた様子がかがえしました。大きなけがや事故もなく、充実した夏休みを過ごすことができ、保護者・地域の皆様にも心より感謝いたします。ありがとうございます。

始業式では、子どもたちに「自分から進んで取り組もう。」というお話をしました。2学期は、81日間あり、1年で一番長い学期です。学校行事も目白押しで、5年生の花山宿泊学習、6年生の修学旅行、3・4年生が発表する音楽文化祭、宝江小の学習発表会、校内持久走大会等、数多くあります。一つ一つの授業でも、学習のねらいに沿って集中して取り組んでほしいと思います。授業も学校行事も自分から進んで行い、分かったことやできることを増やして、自分自身を高めてほしいと話しました。

一人一人、自分から進んで取り組む過程には、様々なことがあるでしょう。時間がかかったり、途中でくじけそうになったりするかもしれませんが、あきらめなくて粘り強く頑張してほしいと思います。心の中で自分から進んでやってみるんだという気持ちを持ち続けてほしいと思います。少しずつでも分かるようになってたりできるようになってたりして前に進むことができるようになるんだということを児童全員に話しました。

自分から進んで取り組み、自分自身を伸ばし、高めることができるよう頑張してほしいと思います。子どもたちはとても真剣な表情で話を聞き、自分の心の中に刻み込んでいるようでした。実り多い2学期になることを期待しています。

学校運営協議会からの提言を受けて

今年度から、学校運営協議会の4つの提言を受けて、既存の教育活動や地域の活動等と関係付けた実践をしていくこととし、1学期から実践を進めているところです。その中の提言2「親子・地域一斉の清掃活動」を受けて、中田町地域内の一斉清掃と関連付けた取組を行うこととし、本お便りの先月号でお知らせしたり学級ごとに子どもたちに取組を促したりしました。

2学期が始まり、数名の子どもたちが取り組んでみての感想を書いてくれましたので、紹介をさせていただきます。

☆ゴミがいっぱいあったので、大変でした。

3年 佐藤 悠太さん

☆地区には、ゴミがあまりなく、きれいでした。落ちていたゴミは、吸い殻や缶でした。特に、吸い殻が多かったです。これからも自分の地区を大切にしたいです。

6年 佐々木煌太さん

☆あまりゴミがなかったし、地域の人と協力してゴミ拾いをしたので早く終わりました。僕のいた地域には、ゴミがいっぱいなかったので良かったです。

6年 山内 柊弥さん

☆私が地区のゴミ拾いに参加して思ったことは、道に落ちているゴミの多くは、たばこの吸い殻だということです。他のゴミもありましたが、一番多かったです。だから、自分たちが住んでいる地区は、たばこをすう人が多いのだと思いました。けれど、たくさん道に落ちているゴミを拾ったので、きれいになりました。ゴミ拾いに参加して良かったです。

6年 佐々木 那菜さん

この提言2は環境美化と親子、地域の方々との交流を図ることを目的としていますので、参加した子ども達は、いい気付きを見いだしたのではないかと思います。

参加者数が少なかったという課題も見えたので、今後検討していきたいと思っています。